

I 整備目的

- 二次救急医療をはじめとする双葉郡に必要な医療を確保する
 - 住民が安心して戻れる
 - 作業員等が安心して働ける
 - 企業等が安心して進出できる
- 近隣地域の二次・三次救急医療機関の負担軽減を図る

『医療で安心をサポート』

【双葉地域の基礎データ】
 ・帰還人口試算 26,158人
 ・廃炉作業員 10,000人
 ・除染作業員 15,000人
 ・イノベ構想研究者 +α

II 整備の概要

- 開院時期 平成30年4月を目途に開院
- 設置場所 双葉郡富岡町王塚地区（富岡町役場北西側）
- 運営主体 県立医科大学(以下「医大」)の全面的な支援の下、県立病院として運営
- 診療内容 救急・総合診療（救急医療全般、外科的・内科的疾患全般）

【主な医療機能】

- 救急医療（24時間365日対応）
 - ・近隣医療機関や消防機関等との連携の下、医大を中核に広域連携体制を構築
 - ・一次救急及び専門的・高度な医療を要しない二次救急を中心とした医療提供
 - ・高度医療や専門医療を必要とする患者は医大等へ搬送
- 在宅復帰を支える医療（地域包括ケアの一環）
急性期の治療を終えた患者の在宅復帰を支援
- 地域住民や復興関連事業従事者の健康増進支援
職員による出前講座や院内健康講座等を通じ、病気予防や健康増進を支援
- 緊急被ばく医療
放射性物質による汚染を伴う傷病者への初期レベルの診療
- 教育・研究機関の展開
医大と連携した人材育成支援（医大研修への参加や研修医の受入など）

- 病床数 30床程度
- 施設概要 延べ床面積 約3,600㎡、構造 鉄骨造2階建て
- 整備費 24億円程度（建物19.9+医療機器3.7=23.6億円≒24億円）
- スケジュール

| | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| | 8月～11月 | 12月～3月 | 4月～7月 | 8月～11月 | 12月～3月 | 4月～ |
| 造成 | [進捗バー] | | | | | 医療センター（仮称）開所 |
| 基本設計 | [進捗バー] | | | | | |
| 実施設計 | | [進捗バー] | | | | |
| 建築確認 | | | [進捗バー] | | | |
| 建設 | | | [進捗バー] | | | |
| | | | | | | |

III 双葉郡の救急医療確保に係る広域連携体制



- 県立医科大学（H28.4～）**
 - ふたば救急総合医療支援センター設置（医師の確保）
- 病院局**
 - ふたば医療センター（仮称）の運営主体
 - 医療スタッフの確保
- ヘリの活用（広域的連携・分化）**
 - 病院間の患者搬送
 - 災害発生時の初動対応
- 県立診療所（H28.2～）**
 - 内科、整形外科
 - 救急センター（仮称）開所までの間、日曜・祝日の救急対応を実施

IV 開院までの対応

- ふたば復興診療所（リカレ）においては、日曜・祝日の救急対応を実施
- 医大ふたば救急総合医療支援センターは、現地での救急活動支援を継続

V 大野病院と双葉厚生病院との統合計画

- 県とJA福島厚生連は、大野病院と双葉厚生病院との統合計画を見直し、大熊町、双葉町をはじめとする双葉地域の医療確保を図るという基本理念を継承しながら、新病院の医療スタッフ確保について、新たな協定を締結
- 県は、将来的に、大熊町での病院再開を目指すとともに、双葉厚生病院を含む、当該地域への医療支援を検討